

箕面ロータリークラブ

2021-22
WEEKLY
BULLETIN



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22 年度 国際ロータリー会長 シェカール・メータ
国際ロータリー第 2660 地区 2021-22 年度ガバナー 吉川秀隆

【2021-22 年度】 会長 浦 収 幹事 山本貴雄 広報・会報委員長 佐藤 修

事務局・例会場：〒562-0006 大阪府箕面市温泉町 1-1 箕面観光ホテル Tel:072-724-2781 Fax:072-724-1786
E-mail:mino-orc@abeam.ocn.ne.jp HP:http://mino-orc.net/ 例会日:毎週木曜日 18:30~

◆今週の例会プログラム◆

2022年2月17日(木) 第2506回例会
ガバナー補佐訪問・クラブ協議会
ハイブリッド例会(メイプルホール内講義室)

◆次回の例会プログラム◆

2022年2月24日(木) 第2507回例会
卓話 浜地 誠 会員
箕面観光ホテル 例会場

◆前回例会◆

2022年2月10日(第2505回例会)
ハイブリッド例会(メイプルホール内講義室)

(出席報告)

会員数 27名 出席者 15(講義室 11名 Zoom4名)
出席率 62.5%

◆会長挨拶◆

浦 収

皆様こんばんは 今回もハイブリット例会でお送りいたしますが、毎度のことながら山本幹事、永島さんに毎度深く感謝を申し上げます。

本日は青先輩の卓話で、卓話者からなるべく会場でご視聴いただきたいとご要望を受けまして、11名のかたが会場にお越しいただいております。卓話のタイトルは「私がこの世と別れる日」という、何ともびっくりさせられ、センセーショナルなタイトルであります。ただ、青先輩におかれましては、お体の許す限り、箕面ロータリークラブおきまして、後進のわれわれへのご指導、ご鞭撻を末永く賜りたい気持ちでずっとおりますし、それが会員全員の願いであると思いません。

さて、私は学生時代からぼーっとした性格でして、いろいろと考えても分からないことによく思い耽っております。宇宙のこととか、そして死のこととか。その中で学生時代に死に関する本もたくさん読みました。最近エリザベス・キューブラー・ロス著の「人生は廻る輪のように」という本を読んでいます。この著者はスイス出身のアメリカの精神科医で終末医療におおきな功績を残した人で、「死ぬ瞬間」という著書で有名です。その本は不治の病に瀕した 200 人の患者

に著者がインタビューし、不治の病の宣告を受けた患者がどのように死を受容していくかということが、以下の5段階にまとめられています。

<死の受容の5段階>

1. 否認・隔離 自分が死ぬということは嘘ではないのかと疑う段階。
2. 怒り なぜ自分が死ななければならないのかという怒りを周囲に向ける段階。
3. 取引 なんとか死なずにすむように取引をしようと試みる段階である。何かにすがろうという心理状態。
4. 抑うつ なにもできなくなる段階。
5. 受容 最終的に自分が死に行くことを受け入れる段階である。

この本の中で死を迎えるにあたり最も大切なものは、やはり愛ということがうたわれています。

ただエリザベス・キューブラー・ロス自身が 69 歳で脳梗塞を患い、6 年間寝たきりになったとき、これだけ死の研究をしてきたロスでさえ、自分の死を受け入れられないという事実と直面しました。他人の死と自分の死が異なるものという基本的なことが原因でした。それだけ自分の死を受け入れるのは難しいことなのです。

私はこの世で絶対的な事柄は、人は必ず死ぬということと、時間が未来に進むということ以外しかないと考えており、これだけには変えられないものです。逆にその 2 つ以外の事柄は何がしか相対的に解釈でき得るものだと思っています。

当たり前ですが、必ず死が訪れるから、それまでの生を自分にとって価値のあるものにしなければならない。ここで

4つのテスト 言行はこれに照らしてから

- 1 真実かどうか 2 みんなに公平か 3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるかどうか

敢えて時間間隔を長く捉え、現在から100年前のことを考えてみると、この箕面の大地や山や川の自然以外、今の自分の周りにはある人やモノはほとんど存在しないと思います。ただし、自分の祖先は確かに存在していた。こう考えると、たった100年で物質的なものはほとんど失われてしまう。しかしこれを50年に短縮して捉えると存在するものがぐっと増えてくる。50年前にはこの箕面ロータリークラブは確かにあった。時間感覚の差も面白いと感じます。たった100年で自分の周りの人やモノはこの世に存在しないと思うと、やはり、今自分が生きている、この時の貴重さを感じずにはいられません。

それと同時に死を意識して生きることは有意義な生を得るために有用です。なかなか死を当事者として実感することはできないとは思いますが。私自身も、今は下の子が大学を卒業するまでは絶対死ねないと強く思って日々暮らしています。

ただ自覚しづらい「死」を敢えて意識することで、限りある生の価値に思いを馳せ、自身の今の人生を良い方向に前に進め、または、人生の岐路において、良い選択ができるようにすることが、死を意識する価値だと思います。

本日は、青大先輩の卓話を興味深く拝聴できればと存じます。よろしくお願いいたします。

◆幹事報告◆

山本貴雄

- 10日 卓話 青敬祐会員 ハイブリッド例会
- 17日 ガバナー補佐訪問・クラブ協議会ハイブリッド例会
- 24日 卓話 浜地誠会員 箕面観光ホテル

・3月の例会について

- 3日 移動例会 卓話 木村貞基会員 橋本亭
- 10日 休会 3/12ロータリーデー 中止
- 17日 講演 島津ゆう子様 千里阪急ホテル
- 24日 フォーラム(戦略計画委員会) 箕面観光ホテル
- 31日 休会(5週目)

・3/3 移動例会 橋本亭にて

・釜石市より感謝状の贈呈

◆SAA報告◆

庄司修二

ニコニコ

青敬祐会員:卓話よろしく
 黄堂泰昌会員:青会員の卓話楽しみです
 芝野弘三郎会員:青会員、よろしくお願いいたします
 高橋太朗会員:青さん、よろしくお願い致します
 庄司修二会員、山本貴雄会員、浦収会員、山根ひとみ会員、
 河野優作会員

米山奨学会

上島一彦会員:青敬祐先輩の卓話を、大変楽しみに致しております。

黄堂泰昌会員、芝野修三郎会員、庄司修二会員、
 山本貴雄会員、山根ひとみ会員、高橋太朗会員、

河野優作会員

ロータリー財団

黄堂泰昌会員、芝野修三郎会員、上島一彦会員、浦収会員
 庄司修二会員、山本貴雄会員、山根ひとみ会員、
 河野優作会員、高橋太朗会員

ポリオ

片山秀樹会員:青さん、よろしくお願いいたします
 高橋太朗会員

◆2月のお誕生日◆

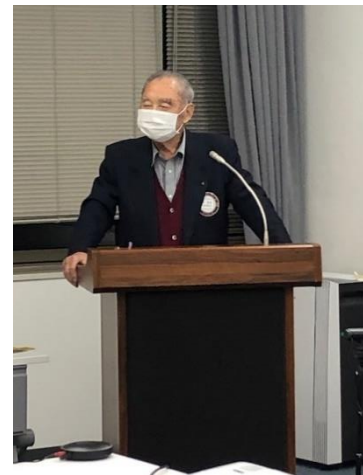
- 2月1日 林 たかみ会員 (Zoom参加)
- 6日 庄司修三郎会員 (欠席)



◆卓話◆

『私がこの世と別れる日』

青敬祐 会員



4つのテスト 言行はこれに照らしてから

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるかどうか